

# 小豆島

しょうどしま



## 迷路のまち

昭和レトロな看板や店舗が残る土庄本町。海賊や敵の侵入を防ぐため、あえて路地を不規則につくったといわれている町の中は、まるで迷路のよう。土庄港から徒歩約15分。

## エンジェルロード

1日2回。引き潮のときだけ、大小の島を繋ぐように、海の中からあらわれる砂の道。大切な人と手を繋いで歩く幸せになれるといわれている。



いろんな願いが書かれたハート形や貝殻の絵馬

## 農村歌舞伎

江戸時代から続く、島の伝統芸能。中山と肥土山の2つの農村歌舞伎が残っている。肥土山は毎年5月3日、中山は10月上旬に上演される。歌舞伎舞台はともに国重要有形民俗文化財。



## 寒霞渓

日本三大渓谷美に数えられる名勝地。ロープウェイから見える渓谷美と瀬戸内海。秋の紅葉、春の山桜、初夏の新緑など、四季それぞれの絶景が楽しめる。



## オリーブ、醤油、「二十四の瞳」…、瀬戸内海で2番目に大きい島。

オリーブ栽培発祥の地で、壺井栄の小説『二十四の瞳』の舞台としても知られる小豆島は、一年を通じて多くの人が訪れる観光の島。醤油やそうめんなどの産地としても有名。オリーブ畑や棚田など美しい自然の風景が待っています。

## 土庄港

本州からの船と四国からの船が行き交う小豆島のメインターミナル。迷路のまちやエンジェルロードはここから。

## 大部港

日生港(岡山)と小豆島を結ぶフェリーの発着港。



### Information 小豆島町

- 【基本情報】
  - ▶面積/95.59km<sup>2</sup>(平成27年10月1日現在)
  - ▶本土からの距離/高松港から22km
  - ▶人口/14,862人(平成27年10月1日現在)
  - ▶主な産業/そうめん、オリーブ製品、醤油、佃煮
- 【島内の移動】
  - 路線バス、レンタカー、レンタサイクル
  - (詳細はP06の「島内交通」をご確認ください。)
- 【問い合わせ先】
  - 小豆島町 企画財政課 ☎0879-82-7000

### Information 土庄町

- 【基本情報】
  - ▶面積/58.01km<sup>2</sup>(平成27年10月1日現在)
  - ▶本土からの距離/高松港から22km
  - ▶人口/13,065人(平成27年10月1日現在)
  - ▶主な産業/そうめん、ごま油、オリーブ製品、醤油、佃煮、小豆島オリーブ牛
- 【島内の移動】
  - 路線バス、レンタカー、レンタサイクル
  - (詳細はP06の「島内交通」をご確認ください。)
- 【問い合わせ先】
  - 土庄町 企画課 ☎0879-62-7014



## 福田港

姫路港(兵庫)からのフェリーの発着地。映画「八日目の蝉」のラストシーンでもおなじみ。

## 天狗岩丁場

小豆島は良質の花崗岩の産地。大坂城の石垣にも使われている。島内にはそれらの石を切り出した丁場の跡が、約18ヶ所残っている。



## 道の駅 小豆島 オリーブ公園

約2,000本のオリーブ畑やレストラン、売店、ハーブ園や温泉、宿泊施設などが集まるオリーブの複合施設。さまざまな体験メニューのほか、秋にはオリーブの収穫体験もできる。

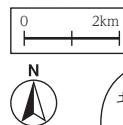


## 草壁港

オリーブと醤油の香りが迎えてくれる港。小豆島オリーブ公園や醤油の郷はここからが便利。

## 坂手港

高松東港(香川)をはじめ、神戸港(兵庫)からの定期船も就航しており、関西からの玄関港。港にはアート作品も。「二十四の瞳映画村」まで車で約15分。



## 壺井栄「二十四の瞳」の舞台

土庄港付近には「二十四の瞳」をモデルにしたブロンズ像もあります



小豆島出身の作家、壺井栄の小説『二十四の瞳』で知られる小豆島。島内には、「二十四の瞳映画村」や、小説『二十四の瞳』の舞台となり、映画『二十四の瞳』(昭和29年)のロケで使用された岬の分教場(田浦分校)など、縁の施設や場所があります。